

クレジットカードでも寄付ができるようになりました!

世田谷ボランティア協会では、銀行振込だけでなく、クレジットカードやAmazon Payの決済サービスを利用して寄付できるようになりました! 下記、二次元コードからご利用ください。

せたがやチャイルドラインの活動継続には、カード・チラシの配布、電話を受けるボランティア育成のための講座の開催、電話やチャットの通信費など年間で300万円ほどかかります。みなさまの応援が、より多くの子どもたちの声を聞く活動の支援につながります。電話とチャットを通して子どもたちの声をより多く受け止めていけるよう、皆様のご支援とご協力をお願いします。

2024年度、4月から10月までに寄付して下さった皆さま(敬称・敬称略)
*匿名希望を除く方のお名前を掲載させていただきます。

堀田尚宏/越村千晶/青柳啓子/平野寛治/磯貝律子/
石村鸞子/篠崎律子/秋吉哲也/平尾隆行/渡会法子/
佐野みち子/岩崎さち子

寄付金控除を受けられます
3,000円以上、おいくらでも大歓迎です
10,000円以上は下の返礼品をお送りします

10,000円〜 30,000円〜 50,000円〜



ボランティアさん
による手作り品/
お礼状
*写真は一例です



せたがやチャイルド
ライン受け手養
成講座 講義集/
お礼状



ボランティアさん
による手作り品/
お礼状
*写真は一例です

*返礼品が不要な方は右の通信欄に「返礼品不要」とお書きください

編集後記

毎年、多くの方にご参加いただいている“公開講座”ですが、申込時に寄せられる声の中に「子どもの声に寄り添いたい」、「何か自分にもできることがしたい」など、さまざまなメッセージをいただきます。

私は、毎年一つひとつの申込を受け取るたびに、子どもを取り巻く環境に関心をもつ大人がたくさんいることを知り胸がグッと熱くなります。一歩踏み出すその勇気は、チャイルドラインの活動にとって、子どもたちを支える架け橋となります。いつもご支援くださるみなさま、ボランティアで関わってくださるみなさま、この活動を支えてくださり、心より感謝申し上げます。(せたがやチャイルドライン事務局 小畑)



せたがやチャイルドライン事務局 (世田谷ボランティアセンター内)
〒154-0002 世田谷区下馬2-20-14 電話:03-5712-5101 FAX:03-3410-3811
メールアドレス: childline@otagaisama.or.jp 担当:小畑・遠藤・近藤

せたがや
チャイルドライン
ホームページ



18才までの子どものための電話とチャット

せたがやチャイルドライン ニュースレター



私たちは子どもが持っている力を信じて話を聴きます

みなさん、こんにちは。せたがやチャイルドライン運営委員長の田野浩美です。

チャイルドラインにはさまざまな子どもたちの声が届きます。今の生活の中で困っていることや自分の存在意義について、また社会での出来事や変化に影響を受けて話をしてくれます。困っていること、悩んでいること、感じていること、悲しい気持ち、楽しい気持ちなど内容はたくさんあります。話せないほど泣きながら電話をかけてくる子どももいます。そんな時、チャイルドラインの受け手は、泣いている子に声をかけながら話し始めてくれるのをじっと待ちます。「悲しいことがあったのね、話せるようになるまで待っているよ」5分から10分、そのまま待っているとやがて小さい声で泣いていた理由をきかせてくれます。チャイルドラインの受け手は子どもたちのつらい状況を聴き、よく電話をかけてくれたね、と声をかけ、これから何ができるのかを一緒に考えます。

チャイルドラインは子どもに答えを渡す場所ではないので、時間がかかりますが、一緒に考えることで子どもは自分で立ち上げることができます。答えを渡してしまえばその場は楽になるでしょうけれど、また困難に出会ったときにまた答えをもらいに行かなければなりません。子どもは何もできない人ではありません。私たちは子どもが持っている力を信じて話を聴きます。「この子にとって悲しいことはなんなのだろう」、「この子が信用している人は誰だろう」、「この子はどうなったらいいと思うのだろう」という事を考えながら話をします。

その中から子どもは自分に起きていることを整理し、自分のできることを見つけていきます。泣いていた子が最後には「明日、自分のできることをやってみる。うまくいかなかったらまた電話していい?」と少し元気になった声で話してくれると、私たちはとてもうれしくなります。「うん、またお話を聴かせてね。私は出られないかもしれないけど、みんな同じようにお話を聴くからね」と伝えていきます。



チャイルドラインに寄せられた声や感想

*子どもの事例については、秘密を守るため編集したものです

学校に行けません。夜、寝る前には明日は行こう、って思うのに朝になると気持ち悪くなるし、冷や汗が出るし、おなかが痛くて家から出られない。午後3時を過ぎたら具合がよくなってくるんですけど。自分が情けなくなっています。お母さんに心配かけたくないです。でも学校に行けないのはどうしてなのかわかりません。

毎日生きていて、どうして自分は生きていこうと思う。何もできないし、何も楽しくないし、だれにも会いたくない。生きるって何?めんどくさいから消えてしまいたい。消えていいですか。消えちゃいけない理由はなに?

戦争ってひいおじいちゃんから聞いていた話で、昔のことだと思ってたのに、今ロシアとウクライナが戦争してる。すごく怖いことなのに、今度はイスラエルがガザに攻撃して多くの人が死んじゃって、この世界はどうなるの?SDGsって持続可能な開発目標だというのがどうやって地球は守られるのかな。今の子どもたちがおとなになるときの世界はどうなっているんだろう。

地震っていつどこで起こるのか分からないのに、ひどい災害になって、いつまでたっても普通の生活に戻れない。なのにあちこちに起きて、いつ自分の身に起きるのが怖くてたまらない。いつか突然に地震が起きてみんなが死んじゃったらどうしよう。

収入印紙
課税相当額以上
貼付

印

せたがやチャイルドラインについて

チャイルドラインの活動はボランティアが担っています。運営委員や講座検討委員、受け手、受け手を見守る支え手、すべてがボランティアです。

子どもたちに何かできないか、という思いを持っている人たちが集まって実施しています。電話を受ける人を「受け手」と呼んでいます。子どもたちの声を受けとめ、話を聴く人になります。「受け手」は悲しい声を聴くことが多く、つらい思いを共有するため気持ちが落ち込むことがあります。その「受け手」をサポートする役割に「支え手」がいます。子どもの声を聴く人ではなく「受け手」を後ろから見守り会話が終わった後に振り返りをしながら「受け手」の気持ちが落ち着くように話をしています。

この「受け手」と「支え手」が一緒にいることで「受け手」が一人っきりで電話を受けることがないようにしつつ「受け手」の質の向上に努めています。このシステムはボランティア活動の中で画期的だと感じています。

せたがやチャイルドラインのしくみ

「受け手」になっていただくための養成研修、せたがやチャイルドラインの講座をご紹介します。

まずは公開講座「今を生きることも～知ってほしい子どもたちの現状～」と題して10講座（5月下旬から7月下旬予定）を実施しています。子どもが置かれている現状を多くの方に知っていただきたいと思って企画しています。受け手になることを考えていなくても、子どものことを知りたいと思われる方ならどなたでも受講いただけます。子どもの成長や子どもの人権、貧困や家族問題など様々な角度から子どもが置かれている現状について専門の先生をお招きしてお話いただいています。会場においでいただくほかオンライン（Zoom）でもご参加いただけます。

公開講座をすべて受講し受け手になることを希望される方は、さらに専修講座8講座（9月上旬から10月上旬予定）をお受けいただけます。こちらは会場での実施になります。コミュニケーションを中心にワークを実施します。詳細はホームページやチラシをご覧ください。

2024年度せたがやチャイルドライン公開講座チラシ

2024年度せたがやチャイルドライン公開講座チラシ

受講者の声

感動を得た最初のワークから始まり、授業全てによって子どもの話を聞く心構えを深められました。同時に自分にとって足りない部分を多く認識し不安を感じる時もありました。しかし、同じ志を持ち、忌憚なく意見交換出来る仲間と出会い修了出来ました。今は頑張ろうという気持ちで一杯です。

こどもの時の自分、『今』の自分、それぞれと向き合う時間でした。その中で自分の感情をよりクリアに味わうことの大切さを知り、それを意識して日々を過ごしたいと思う。また、一緒に受講したメンバーとの絆が深まり、今後受け手を目指す心強い仲間を得ました!!

専門課程でのワークでは、ドキドキしたりワクワクしたり、そして自分自身についての貴重な気づきをいただきました。子どもを理解するための講習のつもりが実は、自分自身をわかるためのものだった。気がつけそんな日々でした。

でも一番素晴らしいと感じたことは、自分の損得ばかり心配する方々が世の中に溢れるこの時代に、誰かのためにお役にたきたいと、毎回遠くから集まり、一生懸命取り組む素晴らしい方々とお会いできたことです。様々な年代で、様々な人生を生きおられる多くの方々と、毎週同じ想いと時間を共にできたことが何よりありがたいと感じました。今、この講習への受講を迷っておられる方々がわたしたちと同じ想いと時間をこれから共にできますように願っております。

イベントでPR

世田谷区内のさまざまなイベントに出店し、せたがやチャイルドラインの活動を発信しています。せたがやふるさと区民まつりなど、区内の大型イベントでは、八女の物産品や手づくり品を販売すると同時に、遊びに来た子どもたちにチャイルドラインカードの説明や配布を行い、チャイルドラインの認知度を高める活動を行いました。こうした活動を手伝ってくださるボランティアの皆さんは、私たちの活動にとってかけがえのない存在です。

区民まつりでの出店



用賀中学校で講演

～ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校 校長 毛利慎治様より～

8月29日、用賀中学校では2学期に向けて、教育相談や不登校対応に関する校内研修を行いました。研修にはせたがやチャイルドラインの方をお招きし、「生徒の声を聴くということ」をテーマで学び、教員が生徒役となるロールプレイ形式で、生徒が抱える困難に耳を傾ける実践を行いました。ここで、音声を「聞く」、質問して「訊く」、そして心を「聴く」という3種類の「きく」を学び、生徒の心に寄り添う重要性を改めて実感しました。



◆注1 寄付金は、所得税等の寄付金控除の対象となります。所得税等の寄付金控除をご希望の場合は通信欄に「住所・氏名」「連絡先」と合わせて領収書希望欄にチェックを入れてください。後日領収書を郵送でお送りします

◆注2 ニュースレター等にお名前掲載を希望しない方は、匿名希望欄にチェックを入れてください

払込取扱票		金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
00		0	0	1	5	0	8	2	7	9	9	6	3						
加入者名	社会福祉法人世田谷ボランティア協会	料	金	備考															
ご依頼人・通信欄	お名前 [寄付申込書 せたがやチャイルドライン応援団費] 住所・氏名のご記入をお願いします。 ・領収書が必要な方はチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> (◆注1) 応援費 1口3,000円× () 口 (任意の額でも有りがたくお受けします) 特別応援費 1口10,000円× () 口 ・返礼品が不要の方はチェックをお入れください。 <input type="checkbox"/> ・匿名をご希望される方はチェックをお入れください。 <input type="checkbox"/> (◆注2) (匿名を希望される方も住所・氏名のご記入をお願いします)																		
日		附		印															
ご依頼人欄に、お名前・おなまえをご記入ください。(承認番号東60718号)																			
これより下部には何も記入しないでください。																			

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001508	279963
加入者名	社会福祉法人 世田谷ボランティア協会	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	
ご依頼人	おなまえ	
料	金	円
備考	日 附 印	

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでください。

この受領証は、大切に保管してください。